

京華中学校 入学試験問題 社会

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

京華歴史博物館へようこそいらっしゃいました。今回は特別展「戦争の歴史」を開催しており、各時代の作品が5つの部屋に分かれ、レプリカを展示しています。

原始・古代の部屋

縄文時代は、(a)のような石器を矢じりにして中小動物の狩りが行われました。収穫物を皆で分け合って生活していたので、身分の差もなく大きな争いもない共同社会であったようです。しかし、①弥生時代に入ると本格的に稲作が始まり、土地や水をめぐる争いが起こり、その中から発生した身分の差が社会のしくみを大きく変えていきました。(a)の石器も(b)のように磨製石器へと変化し、大型化して大量に生産されるようになったのです。



(a)



(b)

問1 下線部①について、この時代の集落の変化として間違っているものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 支配者のために古墳がつくられるようになった。
- イ. 物見櫓がつくられるようになった。
- ウ. 集落の周りに深い濠がつくられるようになった。
- エ. 高台などに集落がつくられるようになった。

中世の部屋

奈良・平安時代は、貴族社会の内部で政治の主導権をめぐる争いが絶えませんでした。それを解決するために武力が用いられますが、貴族は武士を利用します。やがて、武士の力が貴族社会の力関係を決定づけるようになり、武士が貴族に代わって政治の実権を握るようになったのです。

(c)は「平治物語絵巻」の一部ですが、平治の乱という戦いを描いています。源氏と平氏が藤原氏の争いに集められた中で起こった戦いで、この戦いに勝利した(②)が大きな力を持つようになりました。(d)は「蒙古襲来絵巻」の一部で、③文永の役の一場面を描いたものです。竹崎季長という御家人が、自分の功績を残すために描かせたといわれています。



(c)



(d)

問2 空欄②にあてはまる人物名を、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 平将門
- イ. 平清盛
- ウ. 源頼朝
- エ. 源義経

問3 下線部③について、この戦いの説明として間違っているものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 元は朝鮮半島の高麗を従え、その軍勢とともに襲来した。
- イ. 幕府は九州の御家人を動員し、団結して粘り強く戦った。
- ウ. 元軍は集団戦法やてつはうと呼ばれる火器を使った。
- エ. 幕府は博多湾沿岸に防塁を築き、元軍の上陸を阻止した。

近世の部屋

室町時代の後半に応仁の乱という戦いがあり、この乱から戦国時代に入ります。戦国の世を制したのは豊臣秀吉ですが、主君である織田信長の後継者として統一事業を引き継ぎました。(e)は④「長篠合戦図屏風」ですが、信長といえばこの長篠合戦が有名です。武田の騎馬隊を織田・徳川の連合軍が鉄砲隊により破った戦いです。(f)はその信長が上杉謙信に贈った⑤「洛中洛外図屏風」です。信長と謙信は同盟関係を結んでおり、この屏風はその関係から贈られたものです。



(e)



(f)

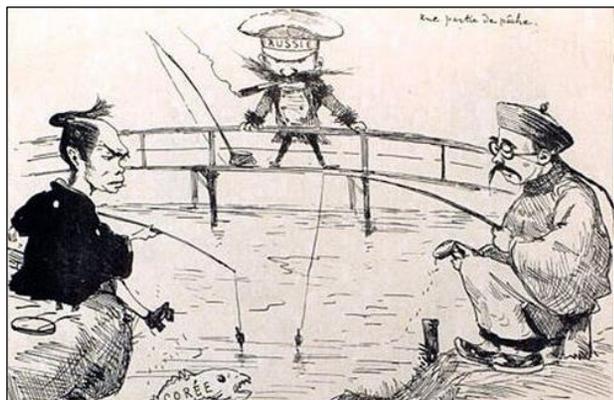
問4 下線部④について、この作品の説明として間違っているものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 絵の左側で鉄砲を構えているのが、織田・徳川軍である。
- イ. 絵の右側に位置する武田軍の大將は、武田信玄である。
- ウ. 織田・徳川軍は柵の外側に、鉄砲隊を一行に並べていることが読み取れる。
- エ. 折り目がついているので、この絵は屏風の一部であることが読み取れる。

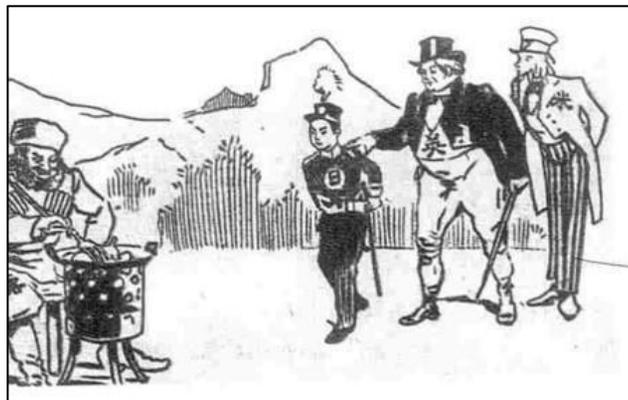
問5 下線部⑤について、この屏風には祇園祭でにぎわう町並みが描かれています。この町はどこですか。漢字2字で答えなさい。

近代の部屋

これまで展示していたものは、国内で起こった戦いに関するものでしたが、明治時代には外国との戦いが起こります。下の(g)は日清戦争、(h)は日露戦争の国同士の関係を描いた風刺画であり、作者はビゴーというフランス人の画家です。日清戦争では⑥「漁夫の利」(他人の争いごとを利用して、苦労しないで利益を得ること)を狙っているロシアが描かれ、⑦日露戦争では「火中の栗を拾う」(自分の利益にならないのに危険をおかすこと)ように促しているイギリスが描かれていて、当時の国際関係を的確に表しています。



(g)



(h)

問6 下線部⑥について、(g)の絵の中で描かれている魚はどの国を表していますか。次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 琉球王国
- イ. 中華民国
- ウ. 朝鮮
- エ. 満州国

問7 下線部⑦について、(h)の絵の右端に描かれている人は、この戦争の講和条約を仲介した国を表しています。国名をカタカナで答えなさい。

現代の部屋

(i)は1941年に出された金属類回収令により集められたお寺の鐘です。お寺だけではなく、全国の家から鍋や釜などの金属類も回収されて、国民は戦争に協力しました。(j)の絵は戦後、現在の日本国憲法が作られた時に、中学1年生向けに発行された⑧「あたらしい憲法のはなし」に掲載された挿絵の一つです。日本は戦前・戦中は国民を戦争に協力させて、戦後は戦争放棄を憲法に盛り込んだのです。わずか数年の間に180度国の方針が変わったことを示しています。



(i)



(j)

問8 下線部⑧について、次の文章はその一部を抜粋したものです。(旧字体は新字体に直してあります) この文章の空欄ア～エに、下のア～エをそれぞれ入れたときに1つだけ間違っているものがあります。下の憲法第9条の条文を参考にして、1つ選び、記号で答えなさい。

「そこでこんどの憲法では、日本の国が、けっして二度と（ア）ように、二つのことをきめました。その一つは、兵隊も軍艦も飛行機も、およそ戦争をするためのものは、（イ）ということです。（中略）もう一つは、よその国と争いごとがおこったとき、けっして（ウ）ということをしめたのです。おだやかにそうだんをして、きまりをつけようというのです。なぜならば、いくさをしかけることは、けっきょく、じぶんの国をほろぼすようなはめになるからです。また、戦争とまでゆかずとも、（エ）ことにきめたのです。」

ア. 戦争をしない

イ. いっさいもたない

ウ. 一人では決めず、国際的なきまりをつくる

エ. 国の力で、相手をおどすようなことは、いっさいしない

憲法第9条

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

問9 (i)と(j)を比べてみて、金属類の利用がどのように変化したのかを、20字以内で答えなさい。

あとがき

人類は長い歴史の中で、数え切れないくらいの戦争を行ってきました。戦争が起こるたびに平和を求める声が高まります。しかし、昨年の2月、⑩ロシアがウクライナに軍事侵襲して戦争が始まったように、人類は何度も同じ過ちを繰り返しています。

人は忘れる動物です。その一方で学習する動物でもあります。戦争を防ぐための知恵を人類は考えてきました。戦争と平和を繰り返す人類の歴史から戦争という文字を消し去るために、我々ができることは何か？まずは戦争を学び、戦争を知ることが大切です。一人ひとりが未来のために、平和を求めて行かなければなりません。

問10 下線部⑩について、この戦争が始まってから起こった国際社会の動きとして間違っているものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア. ウクライナへの武器の提供

イ. ロシアからの欧米企業の撤退

ウ. 国連安全保障理事会による停戦の決議

エ. スウェーデンとフィンランドのNATO加盟への申請

2 次の交通の歴史に関する問題文1～問題文4を読んで、あとの問いに答えなさい。

問題文1

①室町幕府の6代将軍足利義教が死去したことで、社会は混乱していました。この混乱のなかで、たくさん関所において通行料をとるようになりました。また、室町幕府は当初、海賊を取りしまっていました。やがて海賊を家臣にしたり、貿易において海上警備などを任せるようになっていきました。「関所」と「海賊」が室町時代の交通の発展をおくらせました。

織田信長は次々に関所をなくしていきました。関所をなくしたことで、商品の流通がスムーズになり、②物価が下落しました。その後、③豊臣秀吉は朝鮮出兵を起こすにあたって、京都・大阪と九州との間の交通を整備しました。

問1 下線部①に関連して、室町時代の外交について述べた文として正しいものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 足利義満は、日明貿易を開始した。義満は、中国の正式な貿易船に勘合を与え、倭寇と区別した。日本の輸出品は銅銭や生糸・絹織物・陶磁器などで、室町幕府にとって日明貿易は貿易赤字となっていた。
- イ. 足利義政は、日宋貿易に力を入れた。航路の安全を確保するために瀬戸内海の航路や大輪田泊（現在の神戸港の一部）を整えた。室町幕府はこの貿易で大きな利益をあげた。
- ウ. 1429年、沖縄では三つの小国が統一されて、那覇を都とする琉球王国が成立した。琉球王国は中国や朝鮮とはいっさい貿易を行わず、日本とのみ貿易をおこなった。
- エ. 中国で明が成立したころ、朝鮮半島でも朝鮮が成立した。朝鮮は日本に倭寇の取りしまりを要求し、そのかわりに貿易を許可した。朝鮮からは木綿やお経などが輸入された。

問2 下線部②に関連して、市場経済における価格の動きについて述べた文として間違っているものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 工業製品は農作物よりも価格の変動が大きい。
- イ. ゴールデンウィークには、観光地のホテルの宿泊代は高くなる。
- ウ. 消費者が必要としない商品は価格が下がる。
- エ. 大雪や冷害などが起こると野菜の価格は高くなる。

問3 下線部③について、豊臣秀吉のおこなったこととして正しいものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 朝廷から摂政に任じられ、朝廷を利用して大名をおさえようとした。四国や九州の大名をしたがえ、1600年には関東に勢力をもっていた毛利氏をほろぼし、東北の大名もしたがえることで、全国統一をなしとげた。
- イ. 百姓が刀などの武器を持つことを禁止する刀狩をおこなった。これにより、百姓は武器を用いて戦うことや武装してみずからの力で争いを解決することができなくなり、田畑の耕作などにうちこむことになった。
- ウ. 土地の面積を調査して地価を定めた。そして、地価の3%を現金で土地の所有者におさめさせる太閤検地をおこなった。これにより、年貢を確実に集めることができるようになった。
- エ. はじめはキリスト教を保護していたが、全国統一のさまたげになると考えて、バテレン追放令を出した。この命令により、東南アジアやヨーロッパとの貿易も中止したため、キリスト教の禁止を徹底しておこなうことができた。

問題文2

江戸時代の陸上交通は、江戸・大阪・京都を中心に、各地の城下町をつなぐ全国的な交通網が完成しました。特に④五街道は、江戸幕府が支配しました。一方、多くの物を安い値段で運ぶためには、陸上交通より⑤水上交通が適していました。

問4 下線部④について、五街道として間違っているものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 東海道
- イ. 中山道
- ウ. 東山道
- エ. 奥州道中
- オ. 日光道中
- カ. 甲州道中

問5 下線部⑤に関連して、大井川に橋をかけることが禁じられたため、川越人足（注）と呼ばれる人々が活躍しました。【文章1】は、川越人足のその後について述べたものです。空欄Iにあてはまる地名として正しいものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

注) 人足とは、物の運搬や工事などの力仕事をする労働者のこと。

【文章1】明治3年、大井川の川越し制度が廃止され、大井川の両岸にいた約1300人の川越人足は職を失ってしまいました。このとき、33人の川越人足と家族が（I）へ移ることになります。（I）地域に移った川越人足は、荒れ野原であった（I）地域の開拓に力を入れました。後に日本一の茶の産地となる（I）地域の本格的な開拓の始まりなのです。

- ア. 富士
- イ. 浜松
- ウ. 牧ノ原
- エ. 下田

問題文3

2022年は⑥鉄道開業150周年という節目の年でした。鉄道が開業して以降、⑦鉄道の建設は次々に進みました。東急電鉄をもつ東急グループは、昨年創立100周年を迎えるなど、鉄道は現在でも我々にとって必要不可欠な手段となっています。

問6 下線部⑥について、1872年、新橋・横浜間に鉄道が開通しました。下の【文章2】は、「なぜ新橋駅が鉄道の発着駅に選ばれたのか」について考えたものです。下の(1)(2)の問いに答えなさい。

【文章2】新橋駅が選ばれたのは、外国人居留地^{きょりゆうち}注)であった(Ⅱ)と繁華街の銀座に近かったことや、(Ⅲ)の屋敷^{やしき}の跡地が多かった^{あとち}ので、鉄道駅を整備するためのまとまった土地が確保しやすかったことなどが考えられます。
注) 国内に一定の地域を設けて、関係外国人に対して居住・営業などの自由を許可した地域。

【資料A】(Ⅱ)の歴史

- ・1657年に起きた火事によって生じた瓦礫^{がれき}などを使用して、うめ立てをおこなった土地である。
- ・1679年、(Ⅱ)本願寺^{ほんがんじ}を再建する。
- ・明治以降、外国人居留地として発展する。各種ミッション系教育機関^{はつしやう}の発祥^{はつしょう}の地であるなど、国際的なエリアであった。
- ・関東大震災を機に、日本橋魚河岸^{うおがし}から市場機能が移転し、1935年に(Ⅱ)市場が開設される。
- ・建物の老朽化^{らうきうか}などから、2018年に(Ⅱ)市場から豊洲市場^{とよす}へ移転した。

【資料B】江戸時代の新橋周辺の絵図
(〇〇守とは江戸幕府が推薦^{すいせん}して、朝廷が与えた官職^{かんしやく}を意味する。)



- (1) 空欄(Ⅱ)にあてはまる地名を【資料A】を参考にして、漢字2字で答えなさい。
- (2) 【資料B】を参考にして、空欄(Ⅲ)にあてはまる語句として正しいものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。
- ア. 武士 イ. 農民 ウ. 職人 エ. 商人

問7 下線部⑦について、日本鉄道会社は、1883年に上野・熊谷間、翌年に熊谷・高崎間を開業しました。これにより、当時日本で最も重要な輸出品の輸送が便利になりました。この輸出品として正しいものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

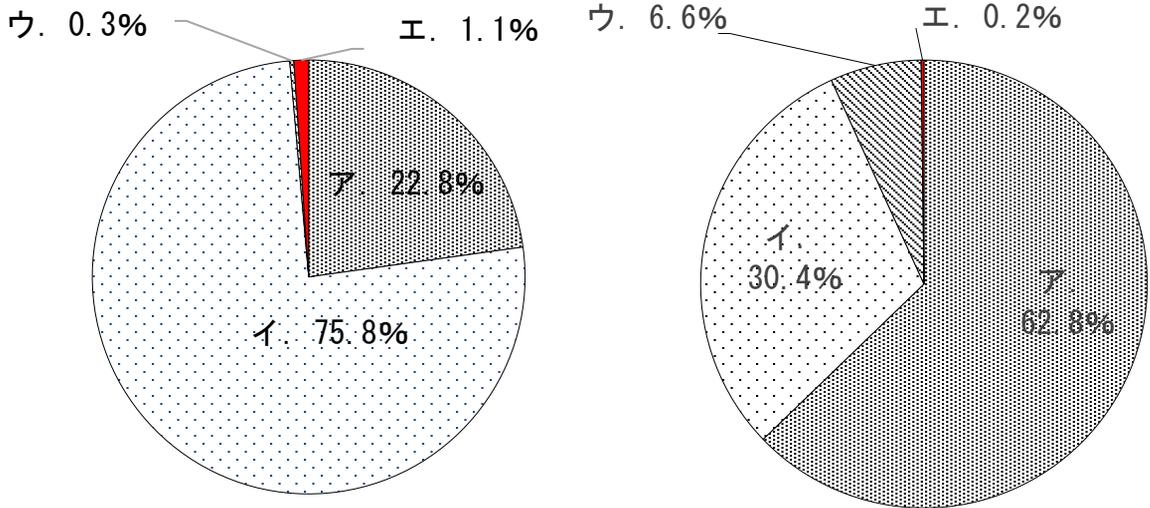
- ア. 鉄鋼 イ. 綿糸 ウ. 米 エ. 生糸

問題文4

戦後、自家用乗用車(マイカー)の普及^{ふきやう}によって、自動車が⑧交通手段の主力となりました。鉄道は、電化が全国的に進み、1964年には東海道新幹線が開通しました。このようにして高度経済成長が達成される一方、⑨公害などの社会問題が生み出されました。

1988年には⑩青函トンネルと瀬戸大橋が開通したため、⑪北海道・本州・四国・九州が陸路で結ばれました。国際化が進むなかで海外渡航者数も増加しており、1978年に⑫成田国際空港(新東京国際空港)、1994年には関西国際空港が開港しました。

問8 下線部⑧に関連して、下のグラフは旅客輸送の輸送手段と割合を表したものです。「航空機」、「自動車」、「鉄道」、「旅客船」のうち「鉄道」にあたるものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。



1960年度 旅客輸送 2018年度 旅客輸送 『日本国勢図会 2022/23』を参照

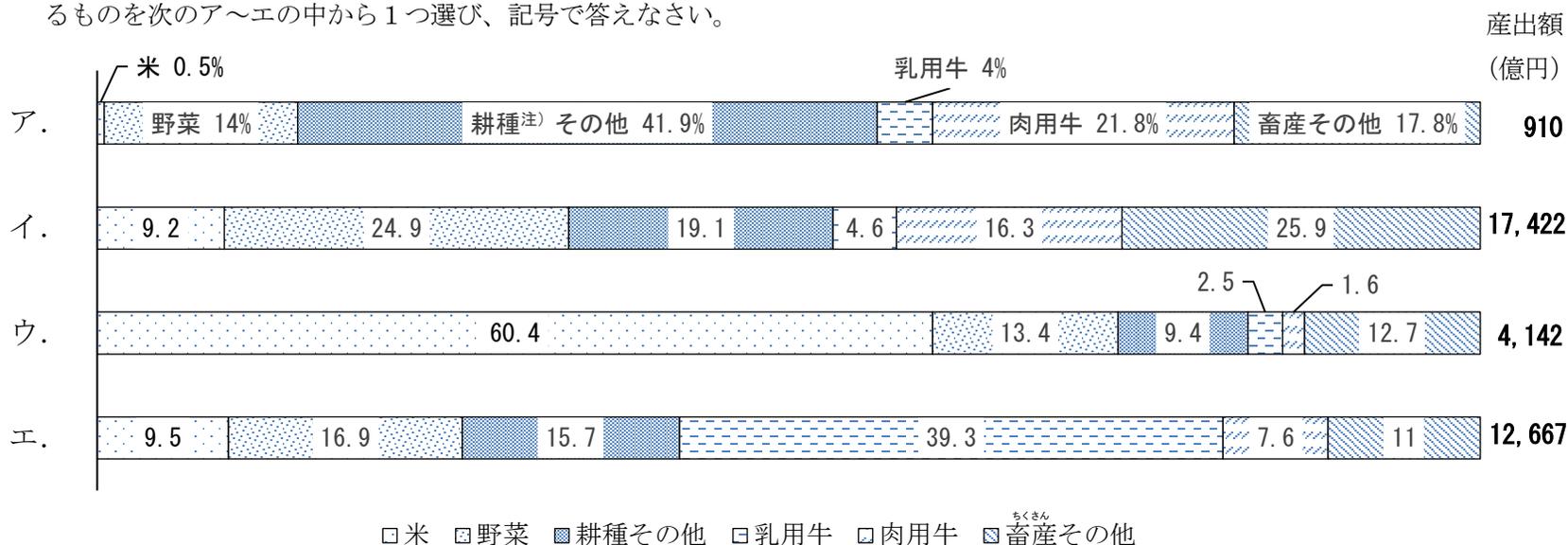
問9 下線部⑨について述べた文として正しいものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 四大公害病とは、熊本県や富山県などで発生した水俣病、新潟県のイタイイタイ病、三重県の四日市ぜんそくのことをいう。
- イ. 四大公害裁判では、企業を訴えた患者とその家族が全面勝訴した。
- ウ. 公害対策を行う経済産業庁（現在の経済産業省）が設置された。
- エ. 3Rとは、リデュース（再使用）・リユース（再利用）・リサイクル（ゴミをへらす）のことをいう。

問10 下線部⑩に関連して、日本の交通について述べた文として間違っているものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 本州四国連絡橋は3つのルートからなるが、そのうち尾道・今治ルートは明石海峡大橋でむすばれている。
- イ. 九州地方にはIC（集積回路）などの電子部品工場が多くあるため、シリコンアイランドと呼ばれている。
- ウ. 瀬戸大橋の開通により移動が便利になった一方で、自動車をもたない人や高齢者にとっては生活が不便になることもあった。
- エ. 新型コロナウイルスの影響で宅配数は増えているが、一方で、トラック運転手の数が不足している現状がある。

問11 下線部⑪について、下のグラフは「北海道」・「北陸」・「九州」・「沖縄」の農業産出額の割合を示したものです。「北海道」にあたるものを次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。



注) 田畑を耕し、種や苗を植えて作物を作る農業。稲作・畑作などのこと。 『日本国勢図会 2022/23』を参照

問12 下線部⑫について、下の表は「成田国際空港」・「千葉港」・「名古屋港」・「神戸港」の主要貿易品目をまとめたものです。「成田国際空港」にあたるものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(合計金額の単位は「百万円」となります。)

ア.

輸出品目	%	輸入品目	%
自動車	24.6	液化ガス	7.4
自動車部品	16.6	衣類	6.9
内燃機関	4.1	石油	5.8
電気計測機器	3.4	絶縁電線・ケーブル	5.1
金属加工機械	3.2	アルミニウム	3.9

輸出合計金額 10,413,661 輸入合計金額 4,316,005

ウ.

輸出品目	%	輸入品目	%
半導体等製造装置	8.4	通信機	14.1
金(非貨幣用)	7.6	医薬品	13.5
科学光学機器	5.5	コンピューター	9.8
電気計測機器	3.8	集積回路	8.0
集積回路	3.8	科学光学機器	6.3

輸出合計金額 10,158,849 輸入合計金額 12,803,024

イ.

輸出品目	%	輸入品目	%
石油製品	20.8	石油	51.7
鉄鋼	20.7	液化ガス	15.7
有機化合物	18.4	自動車	8.9
プラスチック	7.7	鉄鋼	3.8
鉄鋼くず	6.2	肉類	2.8

輸出合計金額 590,280 輸入合計金額 2,478,209

エ.

輸出品目	%	輸入品目	%
プラスチック	7.4	たばこ	9.1
建設・鉱山用機械	5.0	衣類	6.8
無機化合物	4.0	無機化合物	3.7
有機化合物	3.0	有機化合物	3.6
内燃機関	2.8	果実	3.0

輸出合計金額 4,901,725 輸入合計金額 3,003,275

『日本国勢図会 2022/23』を参照